第９回 長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会 議事録

［日　時］ 平成 23 年 7 月 26 日（火）　13:30～16：30
［会　場］ 東京ステーションコンファレンス６０５Ｃ
［出席者］

専門委員	６名
長野広域連合	６名
千曲市	１名
㈱エイト日本技術開発	４名（前半）
八千代エンジニヤリング㈱	２名（後半）

委員会協議概要

（１） 第８回委員会議事録の承認

議事録について承認された。

（２） Ａ焼却施設事業手法等調査検討について

事務局から、調査検討の進め方、メーカーへのアンケート調査について説明し協議を行った。

＜委員意見等＞

・施設の概略仕様を示す資料を調査先に提示する必要がある。特に、各社の考え方で差が出やすい外構工事や、緑化、植栽等に関する考え方を統一する必要がある。
・運営費については、各社で計上漏れが発生することが多いことや整理のしやすさを考慮し、キャッシュフローの提出を求めたほうがよい。
・本アンケートで徴収される建設費は、他事例実績等も踏まえ精査する必要がある。
・本調査においては、仕様等の条件を統一することが優先事項となる。したがって、質問事項等があれば追加事項として整理することが望ましい。
・今後法規制の対象となり得る有害物質がリストアップされていることから、将来を見通した構想を考えることが必要。飛灰処理方法など、まだまだ技術開発されていく部分という位置付けで、選択肢を広げた提案を受けることが望ましい。

（３） Ｂ焼却施設基本計画について

事務局から、環境影響評価に必要な施設諸元、メーカーへの技術資料依頼について説明し協議を行った。

＜委員意見等＞

・低質ごみの低位発熱量が少し高い。ごみ処理施設整備の計画・設計要領によれば、低質ごみと高質ごみの低位発熱量の比が２から 2.5 程度が望ましいとされている。
・効率的な熱回収という考えに基づけば、触媒脱硝は採用しないほうが望ましい。最近の動向では、白煙防止を付けないという選択も、住民に理解してもらえるのではないか。

以上